新旧対照表

新

P90　第３章　地域の概況

表 3-36　市町が実施しているその他施策の内容（5/8）

市町名	事業名等	事業概要
厚真町	デマンドバス「めぐるくん」運行	厚真町が実施主体として、町内の交通空白地域において住民の輸送を行うことを目的に予約制でフィーダー系統を運行します。
	むかわ町営バス乗り入れ負担金	鹿沼地区に乗り入れするむかわ町営バスの運行経費を負担します。
	地域公共交通空白タクシー運行事業	公共交通が空白となる土曜日（18：00～21：00）及び日曜日・祝日（8：30～20：30）にタクシーを運行する事業者に対し、補助金を交付します。
	公共交通ガイドブック発行事業	町内交通を網羅した冊子を町内全戸に配布します。
	高齢者バス利用助成事業	高齢者に対し、路線バスの助成券を交付します。町内バス路線は、65 歳以上の方は助成券の利用により一律 100 円で乗車できます。町外バス路線は、70 歳以上の方が、あつまバス株式会社及び道南バス株式会社が運行する路線を利用する際に、介護保険料段階に応じて月３往復まで、半額（第 4～9 段階）もしくは無料（第 1～3 段階）にします。
	子育て支援高校生通学費還元給付金	町外の高校に通学または下宿している生徒の保護者に対し、町内で利用できる月額 5,000 円分のポイントを還元します。
	小学校・中学校スクールバス運行管理事業	小中学生の通学スクールバスを運行します。
	人工透析患者等送迎事業	身体障害者手帳の交付を受けており、人工透析療法を受けるための通院手段の確保が困難な方又は介護保険における要支援以上の認定を受けており、町外の医療機関への通院手段の確保が困難な方に対し、医療機関への無料送迎をします。
洞爺湖町	虻田地区コミュニティバス運行事業	道南バス株式会社が虻田地区内を巡回するコミュニティバスの運行に対し、補助します（週６日×７便であり、一般 160 円、子ども・障害者 80 円、70 歳以上高齢者 100 円）。
	洞爺地区コミュニティバス運行事業（市町村有償運送）	有限会社洞爺運輸が指定管理者となって、洞爺地区内を巡回するコミュニティバスを運行します（月曜４便（うち２便は予約運行）、火曜６便、金曜８便（うち２便は予約運行）であり、一般 160 円、子ども・障害者 80 円、70 歳以上高齢者 100 円）。

※令和６年３月２６日現在

旧

P90　第３章　地域の概況

表 3-36　市町が実施しているその他施策の内容（5/8）

市町名	事業名等	事業概要
厚真町	デマンドバス「めぐるくん」運行	厚真町が実施主体として、町内の交通空白地域において住民の輸送を行うことを目的に予約制でフィーダー系統を運行します。
	むかわ町営バス乗り入れ負担金	鹿沼地区に乗り入れするむかわ町営バスの運行経費を負担します。
	地域公共交通空白タクシー運行事業	公共交通が空白となる土曜日（18：00～21：00）及び日曜日・祝日（8：30～20：30）にタクシーを運行する事業者に対し、補助金を交付します。
	公共交通ガイドブック発行事業	町内交通を網羅した冊子を町内全戸に配布します。
	高齢者バス利用助成事業	高齢者に対し、路線バスの助成券を交付します。町内バス路線は、65 歳以上の方は助成券の利用により一律 100 円で乗車できます。町外バス路線は、70 歳以上の方が、あつまバス株式会社及び道南バス株式会社が運行する路線を利用する際に、介護保険料段階に応じて月３往復まで、半額（第 4～9 段階）もしくは無料（第 1～3 段階）にします。
	子育て支援高校生通学費還元給付金	町外の高校に通学または下宿している生徒の保護者に対し、町内で利用できる月額 5,000 円分のポイントを還元します。
	小学校・中学校スクールバス運行管理事業	小中学生の通学スクールバスを運行します。
	人工透析患者等送迎事業	身体障害者手帳の交付を受けており、人工透析療法を受けるための通院手段の確保が困難な方又は介護保険における要支援以上の認定を受けており、町外の医療機関への通院手段の確保が困難な方に対し、医療機関への無料送迎をします。
洞爺湖町	虻田地区コミュニティバス運行事業	道南バス株式会社が虻田地区内を巡回するコミュニティバスの運行に対し、補助します（週６日×７便であり、一般 160 円、子ども・障害者 80 円、70 歳以上高齢者 100 円）。
	洞爺地区コミュニティバス運行事業（市町村有償運送）	有限会社洞爺運輸が指定管理者となって、洞爺地区内を巡回するコミュニティバスを運行します（月曜４便（うち２便は予約運行）、火曜６便、金曜８便（うち２便は予約運行）であり、一般 160 円、子ども・障害者 80 円、70 歳以上高齢者 100 円）。
	買い物支援バス運行事業	道南バス株式会社に委託し、スーパーのない洞爺地区、月浦地区、洞爺湖温泉地区及び虻田地区のスーパーを往復する無料のバスを運行します（週１回１往復（R2.12 月から２路線（洞爺・月浦便、温泉便））であり、無料）。

新旧対照表

新

P91　第３章　地域の概況

表 3-37　市町が実施しているその他施策の内容（6/8）

市町名	事業名等	事業概要
洞爺湖町	買い物支援バス運行事業	道南バス株式会社に委託し、スーパーのない洞爺地区、月浦地区、洞爺湖温泉地区及び虻田地区のスーパーを往復する無料のバスを運行します（週１回１往復（R2.12 月から２路線（洞爺・月浦便、温泉便））であり、無料）。
	花和地区コミュニティタクシー運行事業	補助金を活用し、花和地区と洞爺駅周辺地区を往復するコミュニティタクシーの運行をします（週２回各１往復の予約運行であり、一般 300 円、子ども・障がい者 150 円、70 歳以上高齢者 150 円）。
	福祉有償運送	要介護者や障がいのある方に対する十分な輸送サービスが確保できないと認められる場合に、自宅と医療機関等の間を有料で個別輸送するサービスを実施します。
	福祉バス管理運営事業	他人の介助によらずに移動することが困難であると認められ、単独でタクシー等の公共交通機関を利用することが困難な方に対し、町又は社会福祉団体等の主催事業等に町有バスを使用します。
	スクールバス運行業務	委託により、洞爺湖町に住所を有し、町内小中学校へ通学する児童・生徒を送迎します。
	部活動大会等遠征に係るバス運行	教育効果の向上及び保護者の負担軽減を図る目的として、虻田中学校部活動大会等の遠征時に生徒を輸送するため、バスを運行します。
	高齢者バス運行業務	高齢者の外出する機会を創出し、健康増進を図ることを目的に、満 70 歳以上の町民であって、町が発行する「高齢者福祉証」を所持する方に対し、路線バス運賃の一部を助成します（利用者負担 1 回 100 円の差額を町が負担）。
	洞爺地区等通学費等助成事業	洞爺地区に住所を有し、胆振西学区地区等の高等学校等に通学する生徒、公共交通機関等による通学が困難、又は高額な通学費等を要する生徒を扶養する保護者に対し支援します（通学費、下宿代の一部を助成）。
	自動車改造費助成事業	洞爺湖町に居住し、身体障害者手帳の交付を受けている方のうち、町が規定する障がいを有する方に対し、身体障がい者が自立した日常生活、社会生活を営むために自動車の改造費用の一部を助成します。
	精神障害者社会復帰施設等通所交通費支給事業	精神障がい者の社会復帰を促進することを目的に、洞爺湖町に居住する精神障がい者の方に対し、町が掲げる社会復帰施設等に通所する場合に要する交通費の一部を助成します。

※令和６年３月２６日現在

旧

P91　第３章　地域の概況

表 3-37　市町が実施しているその他施策の内容（6/8）

市町名	事業名等	事業概要
洞爺湖町	花和地区コミュニティタクシー運行事業	補助金を活用し、花和地区と洞爺駅周辺地区を往復するコミュニティタクシーの運行をします（週２回各１往復の予約運行であり、一般 300 円、子ども・障がい者 150 円、70 歳以上高齢者 150 円）。
	福祉有償運送	要介護者や障がいのある方に対する十分な輸送サービスが確保できないと認められる場合に、自宅と医療機関等の間を有料で個別輸送するサービスを実施します。
	福祉バス管理運営事業	他人の介助によらずに移動することが困難であると認められ、単独でタクシー等の公共交通機関を利用することが困難な方に対し、町又は社会福祉団体等の主催事業等に町有バスを使用します。
	スクールバス運行業務	委託により、洞爺湖町に住所を有し、町内小中学校へ通学する児童・生徒を送迎します。
	部活動大会等遠征に係るバス運行	教育効果の向上及び保護者の負担軽減を図る目的として、虻田中学校部活動大会等の遠征時に生徒を輸送するため、バスを運行します。
	高齢者バス運行業務	高齢者の外出する機会を創出し、健康増進を図ることを目的に、満 70 歳以上の町民であって、町が発行する「高齢者福祉証」を所持する方に対し、路線バス運賃の一部を助成します（利用者負担 1 回 100 円の差額を町が負担）。
	洞爺地区等通学費等助成事業	洞爺地区に住所を有し、胆振西学区地区等の高等学校等に通学する生徒、公共交通機関等による通学が困難、又は高額な通学費等を要する生徒を扶養する保護者に対し支援します（通学費、下宿代の一部を助成）。
	自動車改造費助成事業	洞爺湖町に居住し、身体障害者手帳の交付を受けている方のうち、町が規定する障がいを有する方に対し、身体障がい者が自立した日常生活、社会生活を営むために自動車の改造費用の一部を助成します。
	精神障害者社会復帰施設等通所交通費支給事業	精神障がい者の社会復帰を促進することを目的に、洞爺湖町に居住する精神障がい者の方に対し、町が掲げる社会復帰施設等に通所する場合に要する交通費の一部を助成します。
	伊達地区交通安全推進協会交付事業	各市町に住民登録をしており、運転免許証を所持する 65 歳以上の高齢者に対し、北海道札幌方面伊達警察署、一般社団法人伊達地区交通安全協会及び１市３町（伊達市・洞爺湖町・壮瞥町・豊浦町）では、65 歳以上の運転免許証所持者が運転免許証を自主返納にする際の運転経歴証明書発行手数料を全額補助します。

新旧対照表

新

P92　第３章　地域の概況

表 3-38　市町が実施しているその他施策の内容（7/8）

市町名	事業名等	事業概要
洞爺湖町	伊達地区交通安全推進協会交付事業	各市町に住民登録をしており、運転免許証を所持する 65 歳以上の高齢者に対し、北海道札幌方面伊達警察署、一般社団法人伊達地区交通安全協会及び 1 市 3 町（伊達市・洞爺湖町・壮瞥町・豊浦町）では、65 歳以上の運転免許証所持者が運転免許証を自主返納にする際の運転経歴証明書発行手数料を全額補助します。
安平町	総合時刻表・乗り方ガイドの発行（支援策紹介含む）	町民に対し、安平町の各交通手段の総合時刻表・乗り方等が記載されているガイドを発行します。
	町内全てで使える共通回数乗車券の運用・販売（10%プレミアム付き）	町民に対し、町内で運行する全ての公共交通機関で使用可能である共通回数乗車券を運用・販売します。
	福祉交通助成事業	満 70 歳以上で介護保険料第 3 段階以下の方、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳いずれかを所持する方（未就学児を除く）、障害年金を受給している方、生活保護世帯に属する方（未就学児を除く）、介護保険施設等の入所者、ひとり親世帯に属する方（未就学児を除く）及び満 80 歳以上の方に対し、共通回数乗車券を交付します。
	運転免許証自主返納者支援事業	運転免許を自主返納した町民に対し、町内で運行する全ての公共交通機関で使用可能である共通回数乗車券を交付します。
	地域公共交通維持確保ハイヤー運賃等助成金	町民に対し、ハイヤー運賃の 2 分の 1 を助成します。
	第二種運転免許取得費助成金	まちでの生活に必要な公共交通を支える人材の育成確保を図り、バス及びハイヤーの維持確保及び持続可能な公共交通を実現することを目的に、第 2 種運転免許の取得に係る費用に対し、助成金を交付します。
	鉄道等利用促進活動費助成金	地域の大切な公共交通である鉄道等の公共交通利用を促進すると共に、地域の経済や文化活動の活性化を図ることを目的に、町民の自主企画による室蘭線を活用したグループ旅行に要する費用に対し、助成金を交付します。
	町民ノーマイカー運動「JR 室蘭線で行こう！うまかまつり」	室蘭線指定便のいずれかに乗って早来駅で降車し、うまかまつりへ向かう方に対し、まつりクーポン券 1,000 円分を進呈します。

※令和６年３月２６日現在

旧

P92　第３章　地域の概況

表 3-38　市町が実施しているその他施策の内容（7/8）

市町名	事業名等	事業概要
安平町	総合時刻表・乗り方ガイドの発行（支援策紹介含む）	町民に対し、安平町の各交通手段の総合時刻表・乗り方等が記載されているガイドを発行します。
	町内全てで使える共通回数乗車券の運用・販売（10%プレミアム付き）	町民に対し、町内で運行する全ての公共交通機関で使用可能である共通回数乗車券を運用・販売します。
	福祉交通助成事業	満 70 歳以上で介護保険料第 3 段階以下の方、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳いずれかを所持する方（未就学児を除く）、障害年金を受給している方、生活保護世帯に属する方（未就学児を除く）、介護保険施設等の入所者、ひとり親世帯に属する方（未就学児を除く）及び満 80 歳以上の方に対し、共通回数乗車券を交付します。
	運転免許証自主返納者支援事業	運転免許を自主返納した町民に対し、町内で運行する全ての公共交通機関で使用可能である共通回数乗車券を交付します。
	地域公共交通維持確保ハイヤー運賃等助成金	町民に対し、ハイヤー運賃の 2 分の 1 を助成します。
	第二種運転免許取得費助成金	まちでの生活に必要な公共交通を支える人材の育成確保を図り、バス及びハイヤーの維持確保及び持続可能な公共交通を実現することを目的に、第 2 種運転免許の取得に係る費用に対し、助成金を交付します。
	鉄道等利用促進活動費助成金	地域の大切な公共交通である鉄道等の公共交通利用を促進すると共に、地域の経済や文化活動の活性化を図ることを目的に、町民の自主企画による室蘭線を活用したグループ旅行に要する費用に対し、助成金を交付します。
	町民ノーマイカー運動「JR 室蘭線で行こう！うまかまつり」	室蘭線指定便のいずれかに乗って早来駅で降車し、うまかまつりへ向かう方に対し、まつりクーポン券 1,000 円分を進呈します。

新旧対照表

新

P93　第３章　地域の概況

表 3-39　市町が実施しているその他施策の内容（8/8）

市町名	事業名等	事業概要
むかわ町	通学バス運行事業	小中学生通学利用バス（路線バスとの混乗）及び各小中学校の登下校に係る臨時バスを運行委託します。
	鵡川高等学校通学バス運行	鵡川高校下校便（1便）を運行委託します。
	鵡川高等学校 JR 通学定期券給付	苫小牧市から鵡川高校に通う生徒に対し、JR 通学定期券を給付します。
	生活支援事業（外出支援サービス）	概ね 65 歳以上及び障がい者で、公共交通機関などによる外出が困難であり家族等も送迎できない方並びに利用者登録が必要な方に対し、指定した日時に町内の医療機関、理美容院、役場、買い物、金融機関等への無料送迎をします。また、条件を満たせば入浴施設への送迎も可能としています。
	障害者支援施設等通所者通所交通費助成	本町の障がい者等、障がい者支援施設等に通所している方に対し、施設所在地の主要駅までの最も経済的な順路によって計算した JR 普通運賃又はバス運賃（上限無し）を助成します。
	特定疾患等通院費助成事業	特定疾患受給者証を受けている方、人工透析を受けている方、精神障害者保健福祉手帳を受けている方及びその他医師の診断により町長が特に認めた方に対し、医療機関所在地の主要駅までの最も経済的な順路によって計算した JR 普通運賃又はバス運賃（7,000 円限度/月）を助成します。
	人工透析患者等送迎事業	身体障害者手帳の交付を受けており、人工透析療法を受けるための通院手段の確保が困難な方又は介護保険における要支援以上の認定を受けており、町外の医療機関への通院手段の確保が困難な方に対し、医療機関への無料送迎をします。
	妊産婦安心出産支援事業	妊産婦健康診査受診日又は出産の日に、むかわ町に住所を有する方、むかわ町から別の市町村にある医療機関に通って妊産婦健康診査を受ける、又は出産した方及びむかわ町が作成した支援プランに基づいた妊産婦健康診査を受けている方に対し、妊婦検診、出産にかかる交通費を助成します（助成額は 1,430～3,200 円）。

※令和６年３月２６日現在

旧

P93　第３章　地域の概況

表 3-39　市町が実施しているその他施策の内容（8/8）

市町名	事業名等	事業概要
むかわ町	通学バス運行事業	小中学生通学利用バス（路線バスとの混乗）及び各小中学校の登下校に係る臨時バスを運行委託します。
	鵡川高等学校通学バス運行	鵡川高校下校便（1便）を運行委託します。
	鵡川高等学校 JR 通学定期券給付	苫小牧市から鵡川高校に通う生徒に対し、JR 通学定期券を給付します。
	生活支援事業（外出支援サービス）	概ね 65 歳以上及び障がい者で、公共交通機関などによる外出が困難であり家族等も送迎できない方並びに利用者登録が必要な方に対し、指定した日時に町内の医療機関、理美容院、役場、買い物、金融機関等への無料送迎をします。また、条件を満たせば入浴施設への送迎も可能としています。
	障害者支援施設等通所者通所交通費助成	本町の障がい者等、障がい者支援施設等に通所している方に対し、施設所在地の主要駅までの最も経済的な順路によって計算した JR 普通運賃又はバス運賃（上限無し）を助成します。
	特定疾患等通院費助成事業	特定疾患受給者証を受けている方、人工透析を受けている方、精神障害者保健福祉手帳を受けている方及びその他医師の診断により町長が特に認めた方に対し、医療機関所在地の主要駅までの最も経済的な順路によって計算した JR 普通運賃又はバス運賃（7,000 円限度/月）を助成します。
	人工透析患者等送迎事業	身体障害者手帳の交付を受けており、人工透析療法を受けるための通院手段の確保が困難な方又は介護保険における要支援以上の認定を受けており、町外の医療機関への通院手段の確保が困難な方に対し、医療機関への無料送迎をします。
	妊産婦安心出産支援事業	妊産婦健康診査受診日又は出産の日に、むかわ町に住所を有する方、むかわ町から別の市町村にある医療機関に通って妊産婦健康診査を受ける、又は出産した方及びむかわ町が作成した支援プランに基づいた妊産婦健康診査を受けている方に対し、妊婦検診、出産にかかる交通費を助成します（助成額は 1,430～3,200 円）。

新旧対照表

新

P94　第３章　地域の概況

（８）地域の取組

市町や交通事業者等は鉄道の利用促進のため、インスタお出かけコンテストや広報誌への公共交通、鉄道利用促進記事掲載、小学校等での出前授業や体験乗車を通じたマイレール意識醸成等のイベントを開催しています。

このほか、JR 定期券で並行する路線バスを利用可能とする、モーダルミックスによる鉄道利用促進などの運賃施策についても実施しています。

表 3-40　公共交通の利用促進に向けた主な取組（1/2）

交通機関・線区名	実施者	取組内容
JR北海道室蘭本線	JR室蘭線活性化連絡協議会	SNSを活用した鉄道利用促進（インスタお出かけコンテスト等）
	各市町	各市町の広報誌への公共交通、鉄道利用促進記事掲載
	JR	炭鉄港を活用した室蘭線利用促進
	安平町	鉄道利用助成金によるグループ・団体の利用促進
	安平町・JR	安平町公共交通共通回数券による利用促進
	JR・関係市町	JRヘルシーウォーキングによる利用促進
	関係市町・JR	イベント・祭りを活用した利用促進
	JR・関係市町	小学校等での出前授業や体験乗車を通じたマイレール意識醸成
	JR	編成減車による経費節減
	JR室蘭線活性化連絡協議会	公共交通利用実態・意向調査（沿線住民・通学生調査、鉄道バス共通時刻表作成）
		室蘭線・日高線連携による鉄道利用促進（カードラリー、JR きっぷでの路線バス利用可）
		モーダルミックスによる鉄道利用促進（JR 定期券で並行する路線バス利用可）
	JR・室蘭市・伊達市	JRヘルシーウォーキングの実施（5/28 室蘭駅、10/1 予定 伊達紋別駅）
	JR・苫小牧市・登別市	R4/10/8～10 運行「HOKKAIDO LOVE!ひとめぐり号」のご当地キャラクターによる苫小牧駅・登別駅でのお出迎え・お見送りの実施
	JR	炭鉄港を活用した室蘭線利用促進

※令和６年３月２６日現在

旧

P94　第３章　地域の概況

（８）地域の取組

市町や交通事業者等は鉄道の利用促進のため、インスタお出かけコンテストや広報誌への公共交通、鉄道利用促進記事掲載、小学校等での出前授業や体験乗車を通じたマイレール意識醸成等のイベントを開催しています。

このほか、JR 定期券で並行する路線バスを利用可能とする、モーダルミックスによる鉄道利用促進などの運賃施策についても実施しています。

表 3-40　公共交通の利用促進に向けた主な取組（1/2）

交通機関・線区名	実施者	取組内容
JR北海道室蘭本線	JR室蘭線活性化連絡協議会	SNSを活用した鉄道利用促進（インスタお出かけコンテスト等）
	各市町	各市町の広報誌への公共交通、鉄道利用促進記事掲載
	JR	炭鉄港を活用した室蘭線利用促進
	安平町	鉄道利用助成金によるグループ・団体の利用促進
	安平町・JR	安平町公共交通共通回数券による利用促進
	JR・関係市町	JRヘルシーウォーキングによる利用促進
	関係市町・JR	イベント・祭りを活用した利用促進
	JR・関係市町	小学校等での出前授業や体験乗車を通じたマイレール意識醸成
	JR	編成減車による経費節減
	JR室蘭線活性化連絡協議会	公共交通利用実態・意向調査（沿線住民・通学生調査、鉄道バス共通時刻表作成）
		室蘭線・日高線連携による鉄道利用促進（カードラリー、JR きっぷでの路線バス利用可）
		モーダルミックスによる鉄道利用促進（JR 定期券で並行する路線バス利用可）
	JR・室蘭市・伊達市	JRヘルシーウォーキングの実施（5/28 室蘭駅、10/1 予定 伊達紋別駅）
	JR・苫小牧市・登別市	R4/10/8～10 運行「HOKKAIDO LOVE!ひとめぐり号」のご当地キャラクターによる苫小牧駅・登別駅でのお出迎え・お見送りの実施
	JR	炭鉄港を活用した室蘭線利用促進

新旧対照表

新

P95　第３章　地域の概況

表 3-41　公共交通の利用促進に向けた主な取組（2/2）

交通機関・線区名	実施者	取組内容
JR北海道日高本線	むかわ町	鵡川高校への定期券助成による利用促進
	各市町	各市町の広報誌への公共交通、鉄道利用促進記事掲載
	厚真町	公共交通時刻表配布による公共交通利用促進
	むかわ町・JR	むかわ竜ラッピング車両運行による利用促進
	JR・苫小牧市・むかわ町	JRヘルシーウォーキングによる利用促進
	苫小牧市	イベント・祭りを活用した公共交通利用促進
	JR・関係市町	小学校等での出前授業や体験乗車を通じたマイレール意識醸成
	JR	編成減車による経費節減
	JR・むかわ町	浜田浦駅廃止による経費削減
	JR北海道の維持困難線区に関する東胆振首長懇談会	公共交通利用実態・意向調査（沿線住民・通学生調査、鉄道バス共通時刻表作成）
		室蘭線・日高線連携による鉄道利用促進（カードラリー、JRきっぷでの路線バス利用可）
		モーダルミックスによる鉄道利用促進（JR 定期券で並行する路線バス利用可）

※令和６年３月２６日現在

旧

P95　第３章　地域の概況

表 3-41　公共交通の利用促進に向けた主な取組（2/2）

交通機関・線区名	実施者	取組内容
JR北海道日高本線	むかわ町	鵡川高校への定期券助成による利用促進
	各市町	各市町の広報誌への公共交通、鉄道利用促進記事掲載
	厚真町	公共交通時刻表配布による公共交通利用促進
	むかわ町・JR	むかわ竜ラッピング車両運行による利用促進
	JR・苫小牧市・むかわ町	JRヘルシーウォーキングによる利用促進
	苫小牧市	イベント・祭りを活用した公共交通利用促進
	JR・関係市町	小学校等での出前授業や体験乗車を通じたマイレール意識醸成
	JR	編成減車による経費節減
	JR・むかわ町	浜田浦駅廃止による経費削減
	JR北海道の維持困難線区に関する東胆振首長懇談会	公共交通利用実態・意向調査（沿線住民・通学生調査、鉄道バス共通時刻表作成）
		室蘭線・日高線連携による鉄道利用促進（カードラリー、JRきっぷでの路線バス利用可）
		モーダルミックスによる鉄道利用促進（JR 定期券で並行する路線バス利用可）

新旧対照表

新	旧
P141　第５章　各種調査結果等から抽出された課題の整理	P141　第５章　各種調査結果等から抽出された課題の整理

（１）西部地域（室蘭市・伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町）

西部地域の課題について整理します。

対象となる市町は、室蘭市、伊達市、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町とします。

出典：国土数値情報「行政区域データ」 国土交通省

https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/ksj.html

※　西部地域内を運行する鉄道及び地域間幹線系統を図化

※令和６年３月２６日現在

図 5-2　西部地域対象の市町

（１）西部地域（室蘭市・伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町）

西部地域の課題について整理します。

対象となる市町は、室蘭市、伊達市、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町とします。

出典：国土数値情報「行政区域データ」 国土交通省

https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/ksj.html

※　西部地域内を運行する鉄道及び地域間幹線系統を図化

図 5-2　西部地域対象の市町

新旧対照表

新

P143　第５章　各種調査結果等から抽出された課題の整理

表5-1　西部地域の公共交通ネットワーク、現状及び問題点、課題

現状及び問題点	課題
西部地域は洞爺湖有珠山ジオパークや洞爺湖温泉をはじめ自然景観や温泉が豊かな地域であり、道内でも観光入込客数の多い市町村として、洞爺湖町が挙げられます。一方で、洞爺湖温泉周辺を運行する地域間幹線系統である、洞爺湖温泉線及び洞爺湖温泉線②は、地域間幹線系統の補助基準のひとつである輸送量 15 人を下回っている状況に加え、利用者数が極端に少ない便も存在しています。【第３章（P55～58）、第４章（P117～118、P123～124）】	西部地域は観光需要も高い地域であり、住民のみならず観光客等の来訪者の移動手段を継続的に確保していくことが必要です。
	→利用実態・ニーズに即した路線の見直し、運行の最適化 →持続可能な移動手段の確保

※令和６年３月２６日現在

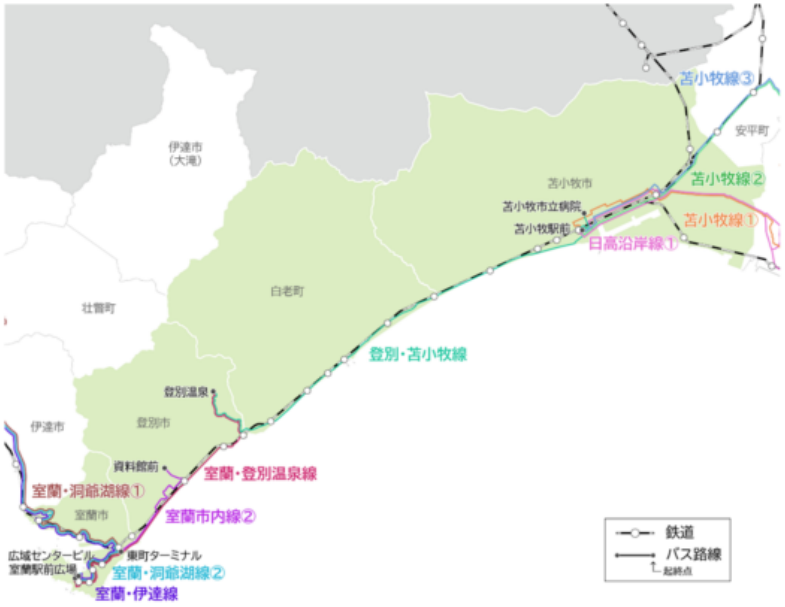
旧

P143　第５章　各種調査結果等から抽出された課題の整理

表5-1　西部地域の公共交通ネットワーク、現状及び問題点、課題

現状及び問題点	課題
西部地域は洞爺湖有珠山ジオパークや洞爺湖温泉をはじめ自然景観や温泉が豊かな地域であり、道内でも観光入込客数の多い市町村として、洞爺湖町が挙げられます。一方で、洞爺湖温泉周辺を運行する地域間幹線系統である、洞爺湖温泉線及び洞爺湖温泉線②は、地域間幹線系統の補助基準のひとつである輸送量 15 人を下回っている状況に加え、利用者数が極端に少ない便も存在しています。【第３章（P55～58）、第４章（P117～118、P123～124）】	西部地域は観光需要も高い地域であり、住民のみならず観光客等の来訪者の移動手段を継続的に確保していくことが必要です。
	→利用実態・ニーズに即した路線の見直し、運行の最適化 →持続可能な移動手段の確保

新旧対照表

新	旧
P144　第５章　各種調査結果等から抽出された課題の整理 （２）中部地域（室蘭市・苫小牧市・登別市・白老町） 中部地域の課題について整理します。 対象となる市町は、室蘭市、苫小牧市、登別市、白老町とします。  出典：国土数値情報「行政区域データ」 国土交通省 https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/ksj.html ※　中部地域内を運行する鉄道及び地域間幹線系統を図化 ※令和６年３月２６日現在 図 5-3　中部地域対象の市町	P144　第５章　各種調査結果等から抽出された課題の整理 （２）中部地域（室蘭市・苫小牧市・登別市・白老町） 中部地域の課題について整理します。 対象となる市町は、室蘭市、苫小牧市、登別市、白老町とします。 出典：国土数値情報「行政区域データ」 国土交通省 https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/ksj.html ※　中部地域内を運行する鉄道及び地域間幹線系統を図化 図 5-3　中部地域対象の市町

新旧対照表

新	旧
P146　第５章　各種調査結果等から抽出された課題の整理 表5-2　中部地域の公共交通ネットワーク、現状及び問題点、課題	P146　第５章　各種調査結果等から抽出された課題の整理 表5-2　中部地域の公共交通ネットワーク、現状及び問題点、課題

新

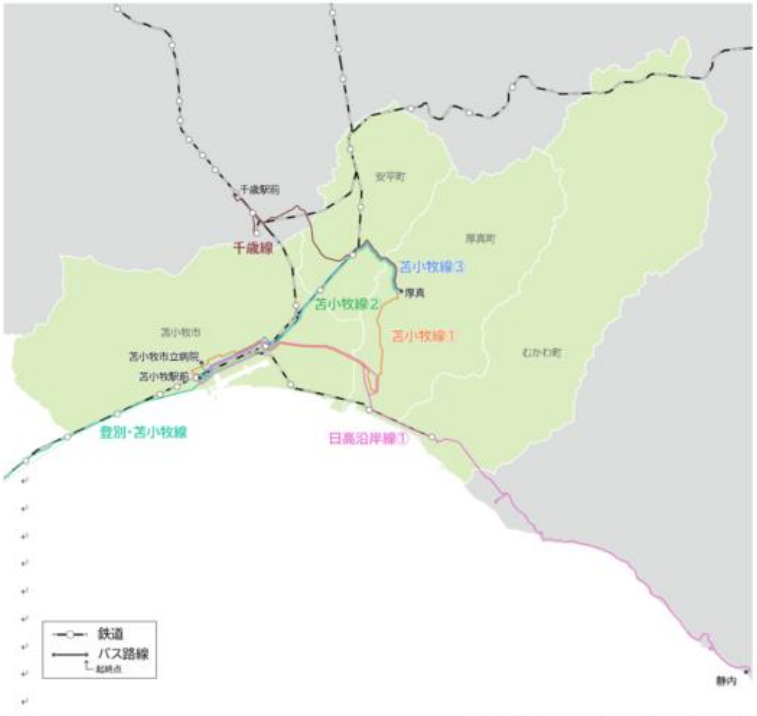
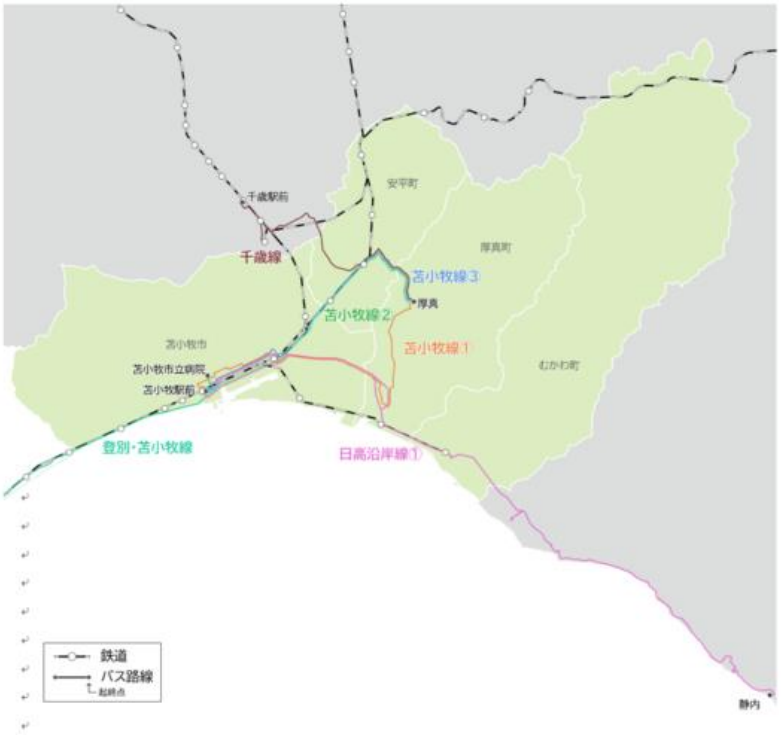
現状及び問題点	課題
中部地域には道内でも有数の温泉地である登別温泉や令和２（2020）年に開業したウポポイ（民族共生象徴空間）などの観光資源を有しており、令和４（2022）年度の観光入込客数では道内の観光入込客数の多い市町村において、上位10位に登別市と白老町が位置しています。【第３章（P55～58）】	中部地域は鉄道（特急）のほか、札幌市あるいは新千歳空港からの都市間バスも多く運行している地域であり、これらと路線バスあるいはコミュニティ交通など各交通モード間（幹線交通・広域交通・生活圏交通）の接続性を確保していく必要があります。 →持続可能な移動手段の確保

※令和６年３月２６日現在

旧

現状及び問題点	課題
中部地域には道内でも有数の温泉地である登別温泉や令和２（2020）年に開業したウポポイ（民族共生象徴空間）などの観光資源を有しており、令和４（2022）年度の観光入込客数では道内の観光入込客数の多い市町村において、上位10位に登別市と白老町が位置しています。【第３章（P55～58）】	中部地域は鉄道（特急）のほか、札幌市あるいは新千歳空港からの都市間バスも多く運行している地域であり、これらと路線バスあるいはコミュニティ交通など各交通モード間（幹線交通・広域交通・生活圏交通）の接続性を確保していく必要があります。 →持続可能な移動手段の確保

新旧対照表

新	旧
P147　第５章　各種調査結果等から抽出された課題の整理 （３）東部地域（苫小牧市・厚真町・安平町・むかわ町） 東部地域の課題について整理します。 対象となる市町は、苫小牧市、厚真町、安平町、むかわ町とします。  出典：国土数値情報「行政区域データ」 国土交通省 https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/ksj.html ※　東部地域内を運行する鉄道及び地域間幹線系統を図化 ※令和６年３月２６日現在 図 5-4　東部地域対象の市町	P147　第５章　各種調査結果等から抽出された課題の整理 （３）東部地域（苫小牧市・厚真町・安平町・むかわ町） 東部地域の課題について整理します。 対象となる市町は、苫小牧市、厚真町、安平町、むかわ町とします。  出典：国土数値情報「行政区域データ」 国土交通省 https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/ksj.html ※　東部地域内を運行する鉄道及び地域間幹線系統を図化 図 5-4　東部地域対象の市町

新旧対照表

新

P149　第５章　各種調査結果等から抽出された課題の整理

表5-3　東部地域の公共交通ネットワーク、現状及び問題点、課題

現状及び問題点	課題
令和５(2023)年度に実施した住民アンケート調査結果では、公共交通の周知の更なる推進に加え、JR と路線バスの時間重複の改善や路線バスの利用実態を踏まえた路線統合など、路線の見直し・運行最適化に関する要望のほか、運賃助成等の公共交通を利用しやすい環境整備に向けた要望が挙がっています。【第４章 (P135～136、P138)】	持続可能な公共交通の確保にあたっては、利用実態に即した路線の見直し・運行最適化のほか、利用需要の更なる喚起に向けた利用促進策の継続的な実施が必要です。 →利用実態・ニーズに即した路線の見直し、運行の最適化 →持続可能な移動手段の確保 →バス路線維持確保に向けた市町支援の充実

※令和６年３月２６日現在

旧

P149　第５章　各種調査結果等から抽出された課題の整理

表5-3　東部地域の公共交通ネットワーク、現状及び問題点、課題

現状及び問題点	課題
令和５(2023)年度に実施した住民アンケート調査結果では、公共交通の周知の更なる推進に加え、JR と路線バスの時間重複の改善や路線バスの利用実態を踏まえた路線統合など、路線の見直し・運行最適化に関する要望のほか、運賃助成等の公共交通を利用しやすい環境整備に向けた要望が挙がっています。【第４章 (P135～136、P138)】	持続可能な公共交通の確保にあたっては、利用実態に即した路線の見直し・運行最適化のほか、利用需要の更なる喚起に向けた利用促進策の継続的な実施が必要です。 →利用実態・ニーズに即した路線の見直し、運行の最適化 →持続可能な移動手段の確保 →バス路線維持確保に向けた市町支援の充実